

日本建築学会近畿支部 耐震構造研究部会 活動履歴（～2018 年度）

- 2018.11 シンポジウム「大振幅地震動に対する建築基礎構造の設計法を考える」
- 2017.11 シンポジウム「大振幅地震動に対する設計と地震対策の最新動向」
- 2016.11 シンポジウム「熊本地震の被害経験を関西の被害軽減促進に如何に繋げるか？」
- 2015.10 シンポジウム「大阪市域の大振幅予測地震動と今後の耐震設計」
- 2014.7 シンポジウム「兵庫県南部地震から 20 年 何を学び、どう耐震設計に反映するか？」
- 2013.7 シンポジウム「想定を超える地震・地震動に対する建築物の応答と今後の耐震設計」
- 2011.12 シンポジウム「内陸直下型地震と海溝型地震のどちらに備えればよいか？ <増大する地震動レベルに対する設計>」
- 2011.10 第 2 回勉強会「新宿駅周辺地域における減災への取組と東日本大震災での超高層建物の揺れと被害」講師：久田嘉章教授（工学院大学）
- 2011.6 第 1 回勉強会「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震で得られた知見」講師：佐藤俊明氏（清水建設技術研究所）
- 2010.10 シンポジウム「パルス性地震動に対する建物の応答特性を考える」
- 2009.10 シンポジウム「内陸地震に対して構造設計者はどう対応すればよいか？ “地震荷重と構造設計”」
- 2009. 1 シンポジウム「上町断層帯による想定地震動に対する建物の耐震設計を考える」
- 2007. 3 シンポジウム「大阪を襲う内陸地震に対して建物をどう耐震設計すればよいか？」
- 2006. 1 シンポジウム「地震動予測と減災への取り組み」
- 2004.11 シンポジウム「大阪平野を襲う長周期地震動」
- 2003.11 シンポジウム「耐震性の向上を目指した新しい技 ―建築構造の性能評価に基づいて―」
- 2002.11 シンポジウム「20XX 年の南海地震を考える」
- 2001.10 シンポジウム「建物・地盤の動的相互作用」―限界耐力計算にどう活かすか
- 2001.2 シンポジウム「21 世紀における耐震設計の動向と展望―兵庫県南部地震の経験を踏まえて―」
- 1999.12 講演会「構造設計者が試みた―大阪平野の断層を想定した模擬地震動作成」
- 1999.7 シンポジウム「性能規定化における構造関係指針検討の最新動向」

- 1998.11 講演会「入力地震動の最近の動向－streng Design codo change in the united stales, 断層を想定した強震動予測と大阪府域への適用－」
- 1998.6 シンポジウム「基礎の耐震設計について－震災の点検から性能設計に向けて－」
- 1997.12 シンポジウム「目で見える構造物の破壊現象－震災後の大型構造実験で何が分かったか」
- 1997.6 シンポジウム「性能設計への展望」